

## II 移動支援（ガイドヘルパーとの外出等）について

### （6）① ガイドヘルパーを利用する理由について

回答からは、本来の移動支援の目的（本人の社会経験を増やす）と同様に、親の就労と、本人がその時間を家庭の外で過ごすための利用が多いことがうかがわれる。  
あるいは、兄弟のための時間確保や、レスパイトを挙げる回答もあり、それらには保護者が体力的な負担の大きさを訴えるものもある。

回答者中のガイドヘルパー利用者は以下のとおり：

小学生	6名 / 188名	中学生	4名 / 33名
豊中支援	9名 / 26名	箕面支援	10名 / 34名

利用の理由として挙げられた声を分類すると以下の通りであった。

a. 本人の社会経験 17件

親以外の大人と行動する、他人にも意志を伝えられるようになる、公共の場での経験を積む、親子分離、1人で行動できるようになるように、など。

b. 保護者の就労に関わるもの 8件

長期休暇時、仕事で親の帰宅が遅くなる時、スクールバス停までの送迎（共働き）、など。

c. 家庭内の状況によるもの 7件

きょうだいの為の時間が作れない、出産後、家族の用事、など。

d. レスパイト、もしくは保護者の負担軽減 4件

家族が相手だとわがままが出て大変、成長と共に体力的にきつくなった、平日多忙で休日をゆっくりしたい、など。

e. その他 9件

### （6）② 利用者への月当たり支給量

2時間～46時間/月 と、ばらつきあり。

### （6）③ 実際の利用時間

0時間～40時間 と、ばらつきあるが、最も多い回答は0時間の5名。

### （6）④ 一回当たり利用時間と行き先

利用時間は0～10時間とばらつきある。2～5時間に集中している。

#### (6) ⑤ 利用してよかったこと

経験が増えた、土日に出かけられて本人のストレスがたまらなくなった、本人にとっての休日の楽しみになっている、家族以外との関わりでの対応力がついた、テレビが減った、親も安心して仕事に行ける、など、障がいのある本人、家族にとって良かったという声多数。

#### (6) ⑥ 利用しにくい事、改善してほしい事は？

情報が少ないという声が複数。申請・支給決定に至っても希望通りの使い方がしにくいという訴えも目立つ。支給量の少なさ、ヘルパーの不足についての声も複数あり。他では、二人介助が必要な利用者の経済的負担の大きさを訴える声が目立つ。更に、事業所やヘルパーの対応に対する不満もみられる。

利用者数も含めた設問全体からは、利用までのハードルが高く利用が一部に限られる（支給決定しても未利用者もあり）という印象も受ける。以下、回答を分類して幾つか挙げる。

##### a. 支給決定及び、その量について

小1くらいから使えるとよい（箕面市ではガイドの対象が小4以上ときいた）、時間をなかなか増やしてもらえない、など。

##### b. 経済的負担に関わること

二人介助が必要なケースの負担が重い、外出時に発生するヘルパーの料金に負担感、など。

##### c. 使いにくさ

利用に規制が多く利用しづらい、グループで利用できるとよい、ヘルパーが足りない、男性ヘルパーが少ない、予約を取りにくい、車を使うことに不便がある、契約にこぎつけるまでがたいへん、など。

##### d. 事業所やヘルパーの対応に関わること

利用理由を訊かれる、キャンセル後に次の利用を制限された、ヘルパーの資質（ホームヘルパーや高齢者介助の人で、障がいのある子どもへの理解が十分でない）、など。